



やらまいか

クラブテーマ：原点回帰

会長／金田 征宏 幹事／度会 尚志 会報委員会／廣田 篤・中村 嘉輝 例会／毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所
事務局／豊川市豊川町辺通 44 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 FAX0533-86-8889 HP／<http://toyokawahoi.tank.jp>

本年度第4回 通算1441回 平成28年7月26日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	7/12 修正出席率
		62名	35名	62.5%	100%

ゲスト：市内6高校の高校生28名、教員7名 ビジター：(なし)

★会長あいさつ

金田 征宏 会長



こんにちは。
本日は夏休み
中の中、また
学校などの諸
行事で忙しい
中、豊川市内
6 高校の生徒
並びに先生方

にお越し頂きまして、大変ありがとうございました。

このボラン・コラボ・穂の国7は、2006-07年度発足をしました。2006年10月に準備を始めて、2007年4月に発足してスタートして、今年10年目です。その間、東日本大震災、熊本地震など大きな災害がありました。その中でボランティア活動が大切だと痛切に感じました。皆さんのやっているボランティア活動を見せて頂き、感心するばかりです。なかなかボランティア活動に参加することはできませんが、機会があれば参加をしたいと思います。日々のボランティア活動の中で、地域の方々に喜んで頂けるような活動を今後もして頂きたいと思っております。

報告事項です。指名委員会の設置について、臨時理事会において、設置が承認されました。構成メンバーは、前年度少し変わりました。本年度から、理事・役員・前年度会長幹事・前々年度会長幹事・前々々年度の会長幹事を加えて19名です。よろしくお祈りいたします。

★幹事報告

大島 嗣雄 幹事

例会臨時変更のお知らせ
手筒祭りのポスター掲示依頼について

★理事役員各委員長の就任挨拶

◎小野 喜明 直前会長



こんにちは。7月1日から直前会長と言う役を拝命致しました。駅伝で言うと、タスキを渡してヘトヘトになっている状態でございます。駅

伝と言えば、豊川リレーマラソンがあります。この豊川リレーマラソンの発祥の地は、豊川宝飯RCの夏目パスト会長です。高校生の皆さんは、ボランティアなどで大勢が参加をしてくれてありがとうございます。

★青少年奉仕委員会担当例会

委員長あいさつ

土井 昌司 委員長



こんにちは。本日の例会を担当させて頂きます青少年奉仕委員会の土井でございます。

まず、高校生の皆さんは7月21

日から夏休みに入ったということで、今巷で大変騒がれているポケモンGOで忙しい中、このボラン・コラボ・穂の国7に参加を頂きまして誠にありがとうございます。約2時間、皆さんの貴重なお時間をお借りさせて頂きしますので、よろしくお祈りいたします。また引率の先生におかれまして、当クラブの事業をご理解頂きまして、生徒さんが出席できるように色々調整を頂きました事を改めて感謝を申し上げます。

皆さんご存知のように、ボランティア活動というのは、原則があるそうです。1つ目は、自主性、自発性です。2つ目が社会性、連体制です。3つ目が無償性、4つ目が創造性、開拓性だそうです。その中で、先日テレビを見ていた時に、ある大学の話が出ていました。そこは、ボランティア活動を大学の必須科目にするということでした。ボランティアの自主性からすると、ちょっと逆方向に向いていると思いますが、その大学の理由としては、会社が欲する学生を育てることが大学の責務であることから、このような必須科目になったそうです。色々と賛否両論あると思います。高校生の皆さん方は、そのようなことを含めながら話し合いをして頂ければ良いかと思っています。

今日の皆さんの発表を、我々は主催者側でもあります。非常に楽しみにしておりますし、また皆様方の活動を聞きながら、非常に刺激を受けることも沢山あります。生徒の皆さん方も、せっかくのこの場でございますので、お互いの発表を聞きながら、それを糧にして活動して頂ければ、我々主催者としても嬉しく思っております。約2時間ですが、出席して良かったと思えるように時間にしたいと思っています。よろしくお願ひします。

皆様方の活動支援という事で、各学校に支援金を送りたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

各学校の活動発表

宝陵高校



ただ今より平成28年度宝陵高校ボランティア活動計画を報告します。

福祉施設では、夏祭りから秋祭り

と入所者の方の車椅子移動や模擬店の手伝いをします。福祉施設でのボランティアは、夏休み期間を利用し、多くの生徒が参加予定です。これから秋祭りやクリスマス会などのボランティアに参加する予定です。

豊川市と豊橋市の3大マラソン大会には、救護スタッフとして毎年参加しています。病院実習や学校で習った知識を活かす場となっています。今年は、豊川リレーマラソンのボ

ランティアに20名近く参加をしました。

豊橋市の歩行者天国では、イベントスタッフとして活動しました。9月までに延べ100名の生徒がボランティア活動の参加を予定しています。

ボランティアに参加することは、とても楽しくて為になると参加するたびに思います。

そこで、去年に続き、今年も少しでも多くの生徒にボランティア活動に参加してもらうために、ボランティア活動に対する呼びかけとして、継続して適正マップを掲示しています。このマップは、NHKのEテレ「大人への扉」という番組で取り上げられたものです。このようなマップを今年はボランティア掲示板に掲示しています。ボランティアを始めるキッカケにしてもらったと思っています。

本校のボランティア活動をどう参加すれば良いのかをご紹介します。気軽さが大切です。まずは、ホームルームや昇降口にあるボランティア掲示板の募集を見ます。そこで、申し込みの日時に集合します。担当の先生に承諾書を提出し、注意事項や心得を聞き、これで申し込みは終了です。あとは、先生がボランティア先と連絡を取り、申し込んでくれます。ボランティア活動を実施するには、責任を伴います。ボランティアの心得を十分に理解し、さあ出発です。

本校のボランティア活動に参加すると、こんな特典があります。3年間で10回以上ボランティア活動に参加すると、ボランティア功労者として表彰されます。まだまだ私たちのボランティア活動は、始まったばかりですが、ボランティア体験のある私たちが、友だちや後輩にボランティアの楽しさや達成感を伝えて行こうと思います。今年のボランティアの結果を、次の交流会でお知らせ出来るように頑張っていきたいと思っています。以上で、平成28年度のボランティア計画の発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。



御津高校

皆さん、こんにちは。御津高校ボランティア活動報告をさせていただきます。よろしくお願ひします。

私たち御津高校では、様々なボランティアを通して、個人の成長や生徒、先生方と関わりながら御津高校がより良い学校になるように日々活動をしています。今回は、生徒会執行部の活動を中心に報告させていただきます。

僕たちは、毎朝、花壇の手入れや水やり、掃除などを行っています。現在は、ラベンダーやジャガイモを植える相談もしています。

私たち生徒会は、毎日遅くまで学校に残り、学校行事や学校の整備の為に活動をしています。9月に体育大会や文化祭があり、現在、生徒が楽しめる企画やステージ製作を行っています。

先日は、野球応援に行き、現生徒会6名、そして元生徒会の先輩方と共に、手作りのダンスや声援で盛り上げました。野球応援まで毎日練習をしたので、とても良い応援をすることが出来たと思います。

御津高校は、東北交流委員会として、被災地の状況について調査、また計画や話し合いをし、何をするかを決めてから、被災地に直接行き、現地の高校生と触れ合ったり、文化祭で劇を石巻高校と演じたりしました。

4月に熊本で地震が発生しました。そのニュースを聞き、私たちが何か出来ることはないかと考えました。その結果、募金で熊本を支えたいと思い立ち、毎日、朝と昼休みに活動を行いました。今回の募金では、より沢山の人の協力して頂くために、大声で被害状況を叫ぶことにしました。駐輪場の前、昇降口の前で、二手に分かれて募金を促しました。更にクマモンのポスターやお面を製作することにより、聴覚的だけでなく視覚的にも募金活動をして頂けるような工夫を凝らしました。その結果、いつもより多く62,559円集まりました。金額は問題ではありません、私たちが少しクリエイティブに考えて行動することによって、皆さんの人を助けたいという想いを掻き立て、協力して頂けるように工夫が出来て良かったなと思いました。

私たち生徒会は、生徒の皆さん、そして地域の皆さんの笑顔や幸せの為に活動をしています。面倒くさいと思うような清掃活動なども、進んで取り組むことにより、皆さんに幸せを届けて行けるのではないかと考えています。学校が綺麗になるだけでなく、我々の心も綺麗になるとは思いませんか。普段は気が付かないようなゴミに気づいたり、朝掃除をしてから授業に臨むために、とても清々しい

気分です学校生活に臨むことが出来ます。また、朝の挨拶も積極的に言い、生徒とのコミュニケーションも図っています。誰かのために働くことは、とてもステキではないでしょうか。これからも、我々御津高校生徒会執行部は、皆さんの幸せのために活動を続けて行きます。

以上で我々の発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

国府高校



今から国府高校前期生徒会の活動報告を行います。私たち前期生徒会の主な活動として、クラスマッチ、文化祭、体育大会の企画・運営、地域のボランティア活動の参加などがあります。

前期生徒会の大きな仕事の一つであるクラスマッチは、7月7日8日の2日間に渡って開催され、その日のために生徒会役員は、5月初旬から毎日夜遅くまで準備を重ねて来ました。当日は、大きな問題もなく、スムーズに進行し、前期生徒会初の学校行事は無事成功をおさめました。

私たちの校外の活動として、ボランティア参加があります。今まで、ゆうあいの里、おいでん祭、豊川リレーマラソンの3つのボランティアに参加をして来ました。その中のゆうあいの里とおいでん祭についてお話しします。

5月に実施されたゆうあいの里ボランティアでは、希望者と生徒会役員で花壇の花植えのお手伝いをさせていただきました。これは、毎年1学期中間試験の最終日に行われているもので、今年も1年生から3年生までの多数の生徒が参加をしました。花植えを終えた後には、施設の利用者様から「花壇が綺麗になって気持ちがいい」「ありがとう」などといった言葉を掛けて頂き、大変嬉しく思いました。ボランティアのやりがいを感じることができました。

同じく5月に行われた豊川市民まつりのおいでん祭では、国府高校の生徒はB1グランプリコーナーのお手伝いを担当することとなりました。私たちは、6つの出展団体のブースにそれぞれ分かれ、パンフレットを持って、大きな声で宣伝したり、お客様の列を並べたり、料理をお出ししたりをしました。どの団

体も、ご当地グルメに町おこしをモットーに活動しているので、私たちがその力となれるように、精いっぱい務めました。出展団体の中には、千葉や岐阜、静岡など県外からお越しになられたところもあり、今回のボランティアを通じて、私たちが豊川の魅力を伝えたり、その逆に、その地方の観光スポットや特産物を教えて頂いたり、普段ではすることのできない貴重な交流も出来ました。

今年度は、4月に発生して熊本地震の復興の手助けをしたいという思いから、生徒会で募金の呼び掛けも行いました。生徒、保護者の方の協力のお陰のもと、合計 334,854 円集まり、これらは中日新聞社を通じて、熊本に寄付されました。

以上が、これまで生徒会が前期に行った活動になります。これから先に、2020年の創立100周年に向けて企画を進め、豊川の町を元気にしていきたいと思えます。

国府高校の今年の文化祭、体育大会のテーマは、「パーティ」です。その名の通り、学校全体で楽しみ、パーティの様に、盛り上げるのできる最高の行事を作ろうと準備をしている所です。これからも国府高校生徒会は、学校のため、地域貢献のため、精いっぱい活動をしていこうと思っています。以上で、国府高校生徒会前期生徒会の発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

小坂井高校



平成 28 年度、小坂井高校のボランティア計画についてお話しします。私たち生徒会は 6 名で活動をしています。本校には、ボラ

ンティア部のような組織は無く、ボランティア行事ごとに、生徒会執行部が呼び掛けで、参加者を募って活動しています。また、今年からボランティア掲示板を作成し、そこに色々なボランティアの募集を貼りだすことで、多くの生徒に周知する工夫を始めました。

まず、すでに行ったボランティア活動について報告します。私は、5月29日に行われた豊橋善意銀行主催の善意フェスティバル2016に参加しました。このイベントでは、東三河の高校や福祉団体、企業の出展の方が豊

橋総合動植物園に集まり、障害のある人や地域の子供達と遊びを通じて触れ合ったり、一緒に園内を散歩したりしました。今年は、主に地域の子供達と交流しました。最初は、どのように子供達と触れ合えば良いのか戸惑いましたが、園内を歩きながら色々な話をしたり、ゲームコーナーに参加しているうちに子供達と打ち解けることができました。また、障害のある人と関わることで、介助の際に気をつけなければならないことなど、障害について少し理解することができ、身近な存在であると気づきました。健常者と障害者が、もっと社会的に歩み寄れたらと思います。この善意フェスティバルには、本校から総勢 61 名が参加しました。

生徒会執行部以外の本校生徒が他のボランティアにも参加しています。豊川リレーマラソン 2016 ボランティアに 4 名、豊川市民まつり・おいでん祭 B1 グランプリコーナーボランティアには 24 名参加をしました。本年度は、昨年度に比べるとより多くの生徒がボランティアに関心を持っているようです。

今後の活動予定を紹介します。11 月には、赤い羽根共同募金活動があります。生徒会執行部を中心に、生徒と先生方に協力を求め、私たち生徒会役員は、文化委員と共に、昇降口に立ち、登校する生徒に募金活動と呼び掛けようと思えます。また終礼で、募金をお願いする予定です。集まった募金は、愛知県共同募金会に寄付します。

12 月には、本校独自の行事のクリーン大作戦があります。この行事には、毎年たくさんの生徒が小坂井駅や放水路、国道 151 号線などで、一斉にゴミを収集します。地域の方々や通学路に日頃の感謝の気持ちを込め、ゴミを集めることは勿論ですが、資源分別も徹底的に行い、地域におけるボランティア活動の身近さを参加者全員が理解をしています。

このような活動をすることによって、ボランティアに対する意識を再確認し、人との関わりを学べる良い機会になります。ボランティア活動をするチャンスは、身近にあることを一人でも多くの人に知ってもらえるように、本校のボランティア活動の充実のために努力したいです。

今年度から、クリーン大作戦の様な、地域の為のボランティアを活性化させたいと考えています。最初の一步として、女子サッカー部、陸上部の有志が小坂井駅周辺の掃除活動

を行いました。今後も定期的に行いたいと考えていますが、方法を模索している所です。3月のボラン・コラボで報告が出来るように頑張りたいと思います。ご清聴ありがとうございます。

豊川高校



豊川高校では、毎年2回生徒総会が開かれます。今日は、その生徒総会で全校生徒に配布した資料をお持ちしました。昨年の物

になりますが、今年も同じような活動をしていくので、参考になればと思い持ってきました。資料に沿って話をしていきます。

初夏の集いは、6月に開かれる講座やステージなどの催しです。ここでは私立高校の良さを地域に伝え、私学助成金について私たちの思いを伝える行事です。本校だけでなく、豊橋中央高校も参加します。今年、18歳選挙が始まったこともあり、選挙についての基礎知識を学び、選挙に関心の低い若者たちを選挙に行ってもらうためには何が出来るかについてグループディスカッションを行いました。

サマーセミナーは、誰でも先生、誰でも生徒、どこでも学校をテーマに、学びたいことを学べる夢の学校です。今年7月16日から18日まで東海学園大学を中心に2000を超える講座が開かれました。私たちも参加し、選挙の事や戦争、格差社会について学んできました。

毎年ロータリークラブにお招き頂き、ありがとうございます。今年も他校との交流を深め、今後の自分たちの活動の参考にさせていただきます。

1億円募金とは、学費の問題で学校を続けられなくなった仲間たちを救うために、高校生たちが立ち上がった募金活動です。愛知県内の様々な場所で行われています。豊川高校でも、豊川稲荷の門前や学園祭で行って行きたいと思っています。

今年の学園祭は、10月1日2日に開かれます。豊川高校の学園祭は、有志が集まった学園祭実行委員会が様々な企画を行います。今年30名の生徒が集まって、今準備を進めて

います。まだ具体的な事が決まったわけではないので、ここで報告できることはありませんが、豊川高校の学園祭は、毎年2万人の人が訪れてくれる一大イベントです。今年も盛大に行いますので、是非皆さんお越し下さい。

中学生に学校を開放するオープンスクールは、8月と10月に行われます。吹奏楽部、ちあーリーディング部、和太鼓部、ダンス部などの団体が出演する歓迎ステージと、校舎案内、体験授業などが行われます。歓迎行事を取り仕切るのは、私たち生徒会執行部です。今年、8月6日7日に行います。

ボランティア活動について報告します。介護施設の訪問や災害義援金、愛の年賀状など、毎年色々なボランティアに参加しています。特に私たちがこだわって続けているのが、地域清掃です。年に数回、豊川駅から豊川高校までの道を生徒会と各クラスの代議員が清掃して歩きます。今年6月6日に第1回が行われました。地域の方にもとても喜んで頂けるので、今年も続けて行きたいと思っています。もう少し規模を拡大できないかと生徒会執行部で話し合っているところです。

BIGフェスは、11月3日に行われる愛知県の私学を中心にした祭りです。私学助成を訴える場所でもあります。

新入生歓迎フェスティバルは、BIGフェスの春バージョンです。ゴールデンウィーク中に行われます。新入生の皆さんが希望を持って高校生活を送れるように、歓迎し交流するイベントです。勿論、私学助成も訴える場所でもあります。

1日研修会は、豊橋中央高校と行う勉強会です。授業改革フェスティバルは、私学の先生たちが中心となって、企画をした学びの場所です。生徒会や学園祭実行委員会が講座を出しています。

新入生歓迎会は、3月に行われる新入生を歓迎するための行事です。高校生活に不安と期待を持っている新入生たちに歓迎ステージを見てもらい、歓迎の意志を伝えます。ステージの取り仕切りは、生徒会執行部と有志の生徒たちで行います。

予選会とは、3年生を送る会の事です。お世話になった3年生に感謝の気持ちを伝えるとともに、新しい世界で頑張ってくださいというメッセージを送るためのものです。ステージの取り仕切りや教室の飾りつけなど、生徒

会が中心となって全校生徒で行います。

生徒の学校生活が、少しでも快適になるように意見を入れる箱を設置しています。そこに寄せられた意見を集約し、先生方と交渉したり、環境の改善を図ったりする活動です。今期の生徒会執行部がもっとも力を入れて行きたいと思っている活動になります。

以上のように、豊川高校生徒会の活動は、1年間、多岐にわたって続けられます。先輩たちが築いて来てくれた多くの活動を、私たちも引き継いでいきたいと思っています。ご清聴ありがとうございました。

豊川工業高校



今から愛知県立豊川工業高校 HSV ボランティア部の発表を行います。

私たち豊川工業ボランティア部は、1年生 7

人、2年生 11 人、3年生 4 人の 22 人で平日は、ほぼ毎日、休日は地域のボランティアに積極的に参加をし、年間を通して約 40 回地域ボランティア活動をしています。新聞でも取り上げて頂きました。

HSV ボランティア部という名前の HSV とは、私たちボランティア部のスローガンである「ハッピースマイルボランティア」の頭文字から来ています。全ての人が笑顔で幸せになるようなボランティアを目指していこうという想いから、この名前が付けられました。

主な活動内容は、大きく分けて 2 つあります。一つ目は、子どもモノづくり教室です。子どもモノづくり教室は、月に 1 度、市民活動センタープリオで行われる、小学生対象の工作教室です。このボランティアは、地域の小学生の子ども達に工作の楽しさなどを教える教室で、工業高校と言うこともあり、私たちは指導員として子ども達に工具の安全で正しい使い方や、パーツの組み立て方などを教えています。地域のボランティアの方々や子ども達と交流を深める良い機会でもあり、様々な体験談を聞く事ができ、子どもとの接し方など、とても勉強になっています。

2 つ目は、本校ボランティア部が主催しているキャンドルナイトです。キャンドルナイトとは、毎年 12 月に豊川市総合体育館前広場

で行われるイベントで、マリンアートを導入して、環境啓発をする、多くの人と繋がりあい、地域の絆を深めることを目的としています。このイベントでは、約 2 千本のキャンドルを使い、一つの文字を描きます。沢山のキャンドルを使用したり、文字決めを吟味したり、宣伝のためのプラカード、ミサンガ、ポスターの製作など準備に半年掛ります。準備として、夏休みに地元の保育園や小学校を訪問し、子ども達にキャンドルナイトで使用するキャンドルホルダーに貼るイラストやマリンアートというオブジェを制作してもらいます。このマリンアート作りは、八南小学校と行い、毎年、定員の 2 倍以上の応募が集まります。写真は、昨年度の様子です。子どもたち一人一人が、イラストやオブジェに想いを込めて製作してくれました。これらの作品に込められた思いを繋ぎ合わせ、昨年度は「結」という文字を描きました。この「結」という文字には、力を合わせる結束や団結など、思いを一つにするという意味があります。一人では出来ない事でも、仲間と共に協力することで必ず結果が得られること、心を一つにして、協力できる人たちに出会って結びつきを大事にしようという思いを知ることができました。「結」という文字にした理由は、昨年度は部活全体に団結力が余りありませんでした。なので、半年後には団結し、結ばれようと思わず「結」に決めました。そして、本年度の文字は「和」に決定しました。今年度は 12 月 23 日（金）に開催します。暗闇に浮かぶ文字はとても幻想的ですので、是非見に来て下さい。

モノづくり教室、キャンドルナイトの他にも豊川リレーマラソンや豊川市総合防災訓練など、1 年間を通して様々な活動を行い、地域の役に少しでも立てるように日々頑張っています。これらの活動から、多くの事に気づき、これから活動に活かして行きたいと思えます。

以上で発表を終わります。ご清聴ありがとうございました。

★ニコニコボックス

土井昌司会員 本日例会を担当します

★交流会

例会終了後に、ボラン・コラボ・穂の国7の交流会が行われました。3~4つのグループに分かれて、テーマについて意見交換をします。



テーマ

「今のボランティア活動の経験を生かして、将来、どのようにボランティア活動に携わっていききたいか？」

各テーブルの発表

- 高校生の今だからこそ、ボランティアに参加できていると思います。
- 大人になると、ボランティアをどこでやっているのか知る機会が少なくなる。
- 駅などにボランティア活動の掲示をすることによって、大人が知る機会をつくる。
- 大人だけでなく、家族で参加できるボランティアを掲示することで、子どもから大人まで多くの人にボランティア活動に参加してもらうことができる
- 小さい頃からボランティア活動に参加することで関心が深まる
- 子どもの頃から、障害者の人や施設の人と

触れ合う機会が出来る
○世界規模では JICA などのボランティア活動に参加することができる

★Rotary ニュース

パキスタンでは、ポリオワクチン投与の情報を詳細かつ迅速に報告するためにスマホを活用するロータリーの取り組みが行われています(以前はすべて書類で報告)。スマホを使えば、投与できなかった子供の情報、投与拒否の理由、治安上の問題など、大切な情報をリアルタイムで集め、今後の対策・戦略へとつなげていくことができます。



国際ロータリーの Facebook より

会報担当：中村嘉輝会員・中西弘徳会員